

令和元年度第1回新居浜市総合教育会議 会議録

- 1 開催日時 令和元年12月4日(水) 14:00～14:55
- 2 開催場所 市役所庁舎3階 市長応接室
- 3 出席者 新居浜市長 石川勝行、教育委員会教育長 高橋良光
教育委員会委員 宮内文久、本田郁代、近藤智佳、尾藤一彦

事務局

教育委員会事務局長、
教育力向上推進監、教育委員会事務局次長、学校教育課長、
企画部長、総合政策課長、総合政策課係長

- 4 会議事項 (1) 持続可能な教育への取組について
(2) その他

5 会議録

事務局	<p>定刻になりましたので、ただ今から、令和元年度 第1回 新居浜市総合教育会議を開催いたします。</p> <p>まず、構成員の皆様の出席状況でございますが、本日は全員が出席されております。次に、会議公開の取扱いについてでございますが、本日の会議につきましては、非公開とする内容はないと考えられますので、原則どおり、本日の会議を公開とし、傍聴等を許可したいと思っておりますが、よろしいでしょうか。</p>
全員	(了承)
事務局	<p>それでは、そのようにさせていただきます。</p> <p>会議の開会に当たりまして、主催者であります石川市長からご挨拶をいただきます。</p> <p>市長、よろしくお願いいたします</p>
市長	<p>新居浜市総合教育会議の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。</p> <p>本日は大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます</p>

	<p>ます。また、平素より、本市教育行政の推進に格別のご理解・ご協力をいただいておりますことに対しまして、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。</p> <p>ご案内のとおり、「新居浜市総合教育会議」は、首長である私と、教育委員会の皆様が、十分な意思疎通を図り、本市における教育行政の課題や目指すべき姿を共有させていただき、効果的に教育行政を推進していくために、平成27年度に設置したものであり、以降毎年度、継続して開催させていただいております。</p> <p>今年度、ご協議いただく議題につきましても、本市の子どもたちが健やかに成長していく過程におきまして、非常に重要な取組であると認識しておりますので、ぜひ、皆様から、多くの忌憚のないご意見を賜りたいと存じます。</p> <p>本日はどうぞよろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>会議の進行でございますが、この会議は市長が主宰するという形になっておりますので、以降の進行は石川市長にお願いしたいと思っております。</p> <p>では、石川市長よろしく願いいたします。</p>
市長	<p>それでは、これより進行を務めさせていただきます。</p> <p>本日の協議事項は、「持続可能な教育への取組について」でございます。</p> <p>本市におきましては、「持続可能な社会」の担い手を育てるため、E S D（持続可能な開発のための教育）を推進し、国際的な目標であるS D G sの達成に向けて、特色ある小・中学校づくりに取り組んでいただいております。また、市内すべての小・中学校が昨年度末までに、コミュニティ・スクールの導入を完了し、子どもたちが地域社会の中で豊かに育つために、学校と家庭、地域の方々が連携して取り組んでいただいていると伺っております。</p> <p>こうした現状を踏まえ、本日はS D G s、E S Dについての各学校での取り組み、コミュニティ・スクール導入の成果等につきまして、協議したいと思っております。</p> <p>それでは、詳細につきまして、教育委員会事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料を基に説明)</p>

市長	<p>教育委員会事務局から説明をいただきましたが、ただ今の説明に関しまして、ご不明な点も含めまして、ご質問やご意見がございましたら、お願いいたします。</p>
本田委員	<p>E S Dやコミュニティスクールの取組について、学校ごとにテーマを決め、数年前から取り組まれているが、研修などで各校の取り組みを話し合ったり、情報を共有する場はあるのか。</p>
事務局	<p>E S Dの取組については、今年度は四国ブロックユネスコ活動研究会において、泉川小学校や船木中学校、新居浜南高校の取り組みを発表した。例年は12月末にE S Dの発表会を開催している。</p> <p>コミュニティスクールについても同様。平成30年度末にすべての小中学校がコミュニティスクールとなり取り組んでいる。こちらも情報交換の場として、協議会を設置し、年間の開催予定や特色ある取組、困っていることなどの意見をもらっている。今後においても、多くの学校で取り組みが進むよう、情報共有の場を設けていきたい。</p>
近藤委員	<p>コミュニティスクールのような新しい取り組みを進めることに伴い、現場の先生の負担感、多忙感が増えている側面もあると思う。</p> <p>地域と学校をつなぐ役割を担うのは学校の先生。その点、学校の先生の負担軽減について、どのように解消しようとしているのか聞きたい。</p> <p>また、PTAの方の話を聞いていると、地域活動に参加する機会が増えたことはよいことであるが、子どもたちが部活動と地域活動、両方で非常に忙しいという話もある。そのあたり、地域の中で何か話題になっているのか。</p>
事務局	<p>実際、先生方の負担は大きいと考えている。特に立ち上げ期の昨年度などは特に大変だったと思うが、仕組みができて、軌道に乗ってくると、学校と地域の方とのやりとりがスムーズにできることによって、今まで学校でしていたことを地域にお願いできる部分も増えてくると考えている。ただ、おっしゃられるとおりの事務的な部分で、先生に負担はかかってくると思うので、地域の中で、調整していただける方、事務的なことも含めて担っていただけるリーダー的な方を育成していくことが重要であると感じている。</p>

尾藤委員	<p>コミュニティスクールなど、新しいことをやっていこうとすると、教員の負担が増えることもあると思う。</p> <p>各種会議の開催などの時間調整なども大変で、年間70、80回の会議をしないといけないというような話も聞いた。</p> <p>これから地域との連携をより深めていこうということであれば、教員の負担軽減策について、具体的に考えてほしい。要望したい。</p>
事務局	<p>学校と地域をつなぐということで、コーディネーターの役割が重要であるというお話、全国的にも同様の話であり、だれにコーディネーターを担ってもらうか、いろいろと事例がある。新居浜であれば、公民館館長であったり、教員OBなど、地域をよくしたいという想いのある方をお願いしたい。</p> <p>一方で、そういう人材は多くはないという問題もある。</p> <p>そのあたり含め、どういう方が適切かということ、コミュニティスクールでも話をしてもらうとともに、教育委員会の中でも人材確保・育成のための取組を進めていきたいと考えている。</p>
近藤委員	<p>先ほどの人材確保の話でいうと、学校運営協議会の委員になられている方は、年齢が高い方が多い。やはり、学校も巻き込んでということになると、子どもがいる、いない、学校に通っている、通っていないにかかわらず、様々な年齢層の方に参加していただければと思う。</p> <p>現役で働いている方は、時間の制限もあると思うが、若い方にも多く入ってきてほしい。</p> <p>また、男女比でも男性が多いと思うので、女性も多く入ってほしい。</p> <p>そういう点を考えると、例えば、忙しくて学校運営協議会の場には参加できないが、ネットを通じてなら参加できるという方もいると思う。</p> <p>そういう環境を整備してあげることも重要と考える。</p>
事務局	<p>確かにおっしゃられるとおり、学校運営協議会の委員さんは、連合自治会の方であるとか、公民館運営審議会の方とか、地域におけるベテラン層の方が多い。若い方といえば、PTAの方などは比較的若いですが、全体としては年齢層が高いのが現状である。本当であれば、PTAを卒業された方が、OBとしてそのまま残っていただき、学校運営に関わっていただけのが理想ではあるが。そのあたりの策については、コミュニティスクール</p>

<p>教育長</p>	<p>の協議会の中で意見交換をしていきたい。</p> <p>ある校区の事例として、PTA会長を卒業された後に、「親の会」を立ち上げて、その代表者としてコミュニティスクールに参画している事例もある。現在、市では1名のコーディネーターを雇用しているが、学校現場からは、コーディネーターの増員要望もある。先生の負担を減らすという点において、先進地の取り組みも参考に、具体策を検討していきたい。</p>
<p>市長</p>	<p>学校運営協議会と地域学校協働本部の役割の違いは。</p>
<p>事務局</p>	<p>学校運営協議会は、学校側から学校運営に関する意見を伺う場であり、地域学校協働本部は、地域側の、実働的な部分で、実際に動いていただける方の活動主体である。</p> <p>この主体が取り組んでいる具体的な活動としては、登下校時の児童の見守り活動などがある。学校運営協議会で、こういうことをやりたいと決めたあとに、実際に活動していただくのが地域学校協働本部というイメージ。学校の先生は、地域学校協働本部には入っていない。</p>
<p>市長</p>	<p>委員の皆さんのご意見でもあるが、先生に過度な負担がかかり、本来の業務である子どもたちへの教育が疎かになってしまっはいけない。</p>
<p>本田委員</p>	<p>「SDGs、ESDについての学校での取組」、「コミュニティスクール導入の成果」のほかに、本日のテーマとなっている「教育研究所の強化」について、教員の学習の場として期待している先生も多いと思う。</p> <p>地域とのつながりという面では、数年前から比べると、コミュニティスクール等に取り組んでいるうちに、あまり違和感なく、地域の方が学校に来たり、子どもたちの行事をお手伝いいただけるようになってきた。特に、小学校の行事に、中学生が参加してくれるような機会も増えてきている。</p> <p>より一層、このコミュニティスクールの取り組みを活性化していこうというのであれば、さらなる仕組み作りに取り組んでほしい。</p> <p>京都市では、様々な活動にボランティアを派遣できるよう、教育委員会が全市的なボランティア登録員を取りまとめている。</p> <p>そのように、教育委員会として、各校区に情報を提供したり、サポートする仕組みを考えてほしい。</p> <p>現状、校区によっては差があり、ボランティアに来ていただける方が少ない校区もある。</p>

	<p>先日、文化センターで市内の音楽発表会があった。例年駐車場のことが問題になっているが、今年はやり方を少し変えたようだ。</p> <p>その中で素晴らしいと思ったことは、会場内、駐車場の整理をPTAの方が手伝っていた。これが本当のコミュニティスクールにおける学校と地域の連携の形だと感じた。</p> <p>教育委員会の中でも、学校教育課と社会教育課の連携が必要であるが、例えば、教育委員会とボランティアセンターとのタイアップなどもできると思う。そういった活動をサポートしてもらえる体制を市として提案していただくと、学校や地域も動きやすくなるのではないかな。</p>
教育長	<p>私も今年の音楽発表会に行ったが、例年駐車場が混雑し、近隣にも大変迷惑をかけていた。かといって、先生が駐車場整理につくと、大事な子どもの活動が見られないということもあった。</p> <p>今回、会の持ち方を変え、3部の入れ替え制にした。</p> <p>保護者の方も自分のお子さんの活動を見ることができるし、先生は子どもの引率と指導に集中できる。</p> <p>市P連の皆さんの協力を得てできたということは非常に大きいことだと考えている。国をあげて社会総がかりで関わる教育の推進に取り組んでいく中で、学校とパートナーシップを組んでやっていく諸団体の協力を得て、ケースによって役割分担を変えていくやり方は非常によいと考えている。</p> <p>お話のあった京都市の事例だが、ボランティアの登録制度があり、いろんな形で、学校に関わっていただいていると聞く。地域の中からこうした人が出てくるように、市としても、啓発や呼びかけに取り組み、「私たちの学校」という意識がより一層深まり、愛情が基盤となったボランティアが増えていけばと考えている。</p>
事務局	<p>自治会活動もそうであるが、地域の担い手をいかに増やしていくかというのがそれぞれの校区の課題であると考えている。そういう中で、今回のお話のように、PTAの方の力というのは非常に大きいと考えている。社会福祉協議会の中にある、ボランティアセンターとも情報共有を図り、連携をとっていくということも検討していく。</p>

宮内委員	<p>これはお願いであるが、教育委員会の仕事は教育委員会で終わるわけではなくて、新居浜市の人材育成、将来の基盤を作る大事な事業である。</p> <p>ぜひ、教育委員会がこういう活動をしている、学校がこういう活動をしているという情報発信を、できれば市政だよりの中に、「学校だより」のような形で、毎月掲載していただきたい。</p> <p>それを見れば、一見、学校に関係のなさそうな高齢者にも、泉川小学校はこういうことに取り組んでいる、教育委員会はこういう事業を進めているということを知ってもらえる。そのことにより、今以上に理解が深まり、協力していただける方が増えると考える。</p> <p>ぜひ、事務局の方で、市政だよりの中に読みやすいコラムをつくるなど、検討していただきたい。</p>
事務局	<p>委員さんご提案の件について、現在、教育委員会内の課が持ち回りで、今月は学校教育課、次は社会教育課という形で、現在も市政だよりに情報を掲載しているが、もう少し、読んでいただくための工夫をしたい。</p>
宮内委員	<p>実は、正直に言うと、市民の方は、学校教育課が何をしようと、社会教育課が何をしようと、全く関係ない。新居浜市の教育委員会はこれを行っているという打ち出しの方が、わかりやすいと思う。</p> <p>例えば、「新居浜市はコミュニティスクールを推進しています」「地域学校協働活動を推進しています」といったようなワンポイントメモのような形の方がよい。</p> <p>公式文書は、漢字が多くなるが、あえて「ひらがな」をたくさん使って、市民の皆さんの目線で読みやすいものを心掛けてほしい。</p> <p>イラストなどを入れて、目を引き付ける、工夫のある情報発信を心掛けてほしい。</p>
市長	<p>教育委員会とも協議をして、市長部局としても工夫した情報発信に取り組んでいきたい。実際、市民の方で、コミュニティスクールとは何か知らない方も多いと思う。</p>
教育長	<p>市民の方の認知度をあげていくことが重要と考えている。</p>
市長	<p>少し前までは「地域学校支援本部」と呼んでいたが、「地域学校協働本部」に変わったのか。これは名前が変わったというだけなのか。</p>

事務局	<p>今までは支援ということで、外から支えるということだったが、文部科学省も対等の関係での「協働」という言葉を使うようになった。組織としては同じものである。</p>
教育長	<p>理念が少し違っている。</p> <p>地域が学校を支えるというのが学校支援地域本部である。コミュニティスクールになり、学校が核として、地域も活性化されていくという、できるところは win-win の関係を目指していこうという、「協働」という言葉がキーワードになっている。</p> <p>地域が子どもたちを支えてくれる半面、さきほども出ていたが、今年各校区の文化祭をかなり回らせてもらったが、中学生がその運営に主体的に関わっている様子が多く見受けられた。</p> <p>学校も地域に支えていただく代わりに、学校の方も地域を支えていくという流れが、今までの「支援本部」と若干違ってきている。</p> <p>双方向を目指しているところが、この協働というキーワードに表れている。</p>
事務局	<p>支援本部では、地域が学校を助けないといけない、みんなで支えようという考え方であった。その理念はそのままあるが、地域にも若い力を還元してもらえということで「協働」という名前に変えたのは間違いない。</p>
教育長	<p>前任の関教育長がこのコミュニティスクールの取り組みを推進してこられたが、愛媛県内では新居浜市は先進地域になっている。</p>
事務局	<p>市域全体で取り組んでいるのは愛媛県内では新居浜市と鬼北町くらいではないか。最近取り組みを開始した自治体としては、宇和島市と愛南町、今治市などになる。</p>
市長	<p>こういった情報もPRしないといけない。</p>
教育長	<p>同感である。学校と地域がずいぶんと近くなったと感じている。あとは教員の業務改善のために、コーディネーターをどういう形で配置できるかが今後の課題と認識している。確かにコーディネーターがいる学校では効果がでているようだ。</p>

尾藤委員	<p>先日、惣開小学校と惣開公民館の間にあった壁を撤去した。その結果、文字通り、学校と公民館の壁がなくなり、一体になった。非常に広がったというのもあるが、これまでできなかったようなイベント、催しができるようになり、人が集う賑やかな場になった。</p> <p>壁がないというのは、まさしくこういう状況なんだなと実感している。壁を撤去する前はいろいろと懸念事項も考えたりしたが、結果として非常に良くなったと思っている。</p> <p>他の校区での、両施設の位置関係はわからないが、なるべくそういう形でできれば、物理的にも、連携がとりやすくなると思う。</p> <p>京都市では、学校の中に、こちらでいう公民館、触れ合いサロンのようなものが入っているという話も聞いた。</p> <p>新居浜市でも、物理的な問題がなければ、そういう方向に行けばいいなと考えている。</p>
市長	<p>尾藤委員の意見についてでも結構ですし、その他市への要望などありましたら、ぜひ意見を聞かせていただきたい。今はちょうど来年度の予算編成の時期でもある。</p>
宮内委員	<p>3点お願いしたい事項がある。</p> <p>第1点目は、新居浜市の歴史について、子どもから大人まで一貫した教育をしていただきたい。</p> <p>今、いろんな学校で、地域のE S Dなどに取り組んでいるが、その学校を貫く一本な柱。子ども、大人、お年寄りをつなぐ一本の柱。それが新居浜市の歴史である。新居浜市はどういう経過をたどって発展してきたのか、これからの新居浜市はどうあるべきか。そういうことを新居浜市の統一的なテーマとして学校等で教えていただきたい。それに対して市も何らかの形で支援をお願いしたい。</p> <p>第2点目は学力の向上である。これに関しては、主に教育委員会、教育研修所が担当すると思うのだが、ぜひ読解力を高めていただきたい。I Tとか英語とか確かに重要であるが、やはり私たち日本人としては、まず国語を理解しないとイケない。何を学習するにしても、国語を使うわけであるから、読解力の向上を通じた、全体の学力の向上をお願いしたい。</p> <p>例えば、新居浜市の歴史を声に出して読んでみるとか、そうした読解力の向上にぜひ努めていただきたいのが2点目。</p> <p>第3点目は、教育にはお金がかかるということ。</p>

	<p>新居浜市の資源は人である。人を育ててこそ新居浜市の発展があると考えている。他市に先駆けて、教室への冷暖房完備など、市が努力していただいていることは十分に理解しているが、ぜひ継続的に力を入れてほしい。</p> <p>お金がかかった先には、資源として跳ね返ってくるものが必ずあるはず。</p> <p>市長には、これからも益々学校現場を見ていただいて、お金を投下していただければと思う。よろしくお願ひしたい。</p>
市長	<p>歴史の件に関しては、市として、今、市史の編纂作業に着手している。</p> <p>検討会を立ち上げて、いろいろな方に協議していただいているが、市史が完成するには10年程度かかるようになる。</p> <p>一方で、教育委員会としても、ふるさと学習の中で新居浜市の歴史を学ぶ機会の提供に取り組んでいただいている。</p>
教育長	<p>子ども版のわかりやすい副読本を作成して、新居浜ものしり検定も実施している。新居浜市の市史編纂の動きにあわせて、必要に応じて副読本も改訂していきたい。</p>
市長	<p>宮内委員さんがおっしゃるように、我々自身も、まず新居浜の歴史を知ることが重要である。子どもだけでなく、大人も知っていかないといけない。それに取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>それと学力向上の話。これは常にお願ひをしていることなので、ぜひ読解力の向上も含め、教育委員会の方で一生懸命取り組んでいただきたい。</p> <p>予算の話は、限られた範囲ではあるが、必要なものは予算措置をさせていただきたい。当面は、5年生以上全員にタブレットを配布しようという国の補正予算の動きもあるので、国がその方向で進めるのであれば、新居浜市もなかり予算は必要となるが対応したいと考えている。</p> <p>実は、昨日新居浜小学校で、電子黒板やタブレットを活用した授業風景をみせてもらった。子どもたちは目を輝かせて取り組んでいた。ただ、そういった機器をフルに活用するためには、先生のスキルも必要となってくる。</p> <p>実際現場をみて感じたが、30人の児童にタブレットを持たせて、授業を進めていくというのは1人の先生だけでは難しいのではないかと感じた。やはり補助者が必要と感じた。そのあたりの人員をどうするかというのも考えないといけない。よろしくお願ひしたい。</p>

<p>教育長</p>	<p>学力向上に関して。今回、指導員の先生がいろいろな教材を作成してくれた。プログラミングのビスケット、スクラッチなど。</p> <p>教育委員さんにも京都市の事例を視察していただいたが、教材センター、先生の研修、スキルアップを支援する場所というのが非常に重要であると考えている。</p> <p>そのあたり、配慮いただけるとありがたい。</p>
<p>近藤委員</p>	<p>私も研修に行かせていただいて、さきほど教育長がおっしゃった先生方の研修の拠点というのが、あればいいなと感じたと同時に、イントラネットやインターネットの環境を整備して、どこからでも先生方が学べる、資料を検索できるというような環境の整備が必要であると感じた。</p> <p>あとは、産休や育休を取られている先生も、その時期にスキルアップできるような、使えるコンテンツがあればいいのではと思う。</p> <p>自分の経験上、子どもが動き出すまでは、社会とつながりたいと思いつながら、産後、なかなか社会とつながる機会がなかったり、なんとなく、新しいことをやりたい、勉強したいという時期なのだが、出かけることはできないということがあるので、家にいながら、職場とつながって、職場の情報が得られる、学べるものがあればいいと感じている。</p> <p>あとは、新居浜市の教育研究所の研究成果のプレゼンテーションを見せていただいたが、本当に、まじめで、熱心に取り組まれていて、毎回感動する。あえていえば、プレゼンテーションのスキルをさらに磨くことができるような機会や研修があれば、なおよいと感じた。</p> <p>先生方の世界の中では、当たり前なことでも、一般市民にとっては、耳なじみがなかったり、知らなかったりすることもある。保護者なり外部の人にもわかりやすく伝える技術を磨くことが、ひいては子どもたちにもいい影響を与えられると考えている。</p> <p>最後に、学力のことですと、小学校・中学校の全国学力調査の結果などをみると、新居浜市が学力が低いという結果にはなっていない。であるが、保護者の立場からすると、これでいいのか、この結果で志望する高校に行けるのか、非常に気になる場所である。</p> <p>まわりの保護者をみると、塾に行かせないといけなくと考え、塾に関する情報を常に得ようとしている。</p> <p>「塾に行かなくては」と保護者が思わなくてもよい状態が理想である。</p> <p>そのためには、まず、先生の多忙感を解消してあげ、子どもへの指導という本当に力を注がないといけなくところに集中できるような環境を整え</p>

	<p>てあげないといけないと感じている。</p> <p>塾に行っている子どもがどの程度いるのかはわからないが、成績があまり良くない子は、その原因はその子個人の能力的な問題なのか、あるいは家庭環境や金銭的な問題なのか。その逆に、成績の良い子はいったい何をやっているのかということもあわせて、現場の先生の意見を聞いて、その結果をまとめたものを提示いただければ、私たちはもっと何をすべきかが見えてくるのではと感じている。</p>
市長	<p>意見の中にあった、インターネット環境の整備について、整備が少し遅れた面はあったかと思う。そのあたりは、具体的な要望をいただければ改善できるものは改善していきたいと考えている。</p> <p>また、休職中の先生へのサポートという話があったが、西条市がテレワークに取り組まれている。こうした取り組みを参考にするというのも一つのやり方かなと思う。県の教育委員会も取り組んでいる。</p>
教育長	<p>県でも今年から取り組んでいる。</p>
市長	<p>あと、学力向上の話について、近藤委員さんが言われるように、現状、勉強ができない子は何が原因でできないのか、教育研究所などで、しっかり分析してほしい。</p> <p>そうして見えてきた原因に対し、それを解消するための取り組みを、一つ一つやっていくというのも有効なやり方であると思う。</p>
教育長	<p>調査・研究していきたい。</p>
市長	<p>その他に、何かありませんか。</p>
尾藤委員	<p>コンピュータの件で。さきほど、文部科学省の方針として、一人一台のタブレットという話があったが、それに関連して情報提供を。</p> <p>どういったハードウェア、ソフトウェアを入れるか、今後検討していくようになると思うのだが、きちんと確認しておかないといけないポイントとしては、ウイルス対策やデータの配信方法、セキュリティの問題などがある。この間、大阪のエキスポに行った際に、目から鱗の情報があった。</p> <p>今、グーグルが教育に特化したソフトを無償で提供していて、世界でもかなりシェアを伸ばしているようだ。</p> <p>Google for Education (グーグルフォーエデュケーション) というシ</p>

	<p>システムなのだが、そこで使用するのは Chromebook（クロームブック）というパソコン。それは Windows ではないのだが、立ち上げると少なくとも 10 秒以内に起動し、OS の入れ替えが必要ない。よく、Windows を使っているうちに、立ち上がらなくなったり、遅くなったり、ウィルスの問題があったりするが、その Chromebook（クロームブック）はクラウドですべて処理するので、ウィルス感染の心配がない。それと、完全にクラウドで、ディスク容量を無制限にグーグルが提供してくれる。</p> <p>いくら容量が増えてもパンクしないし、全部そこで管理するので、情報が洩れるもないというような話を聞いた。</p> <p>これを生徒が持てばいいなと思った。ただ、新居浜市の考えがあり、西条市や四国中央市との連携や先生の異動も考慮し、ある程度、県や近隣市にあわせていく必要もあると思うのだが、今度どのような基準で、ハードウェア、ソフトウェアを選定しようとしているのか、情報があれば教えてほしい。</p>
市長	<p>今から導入する機器の選定については、これから検討していくことになると思うが、今までの実績としては、どういう基準で選定してきたのか。</p>
教育長	<p>タブレットについては、平成 27 年度に国の補助を受けて、一部学校に導入したが、国の補助基準等にあわせて選定している。機種選定については、関係業者と打ち合わせのうえ、検討、決定している。</p>
尾藤委員	<p>今後の話として、OS については、一度導入すると、なかなか変更するというのは難しいと思う。またアプリケーションも OS によって決まってくるので、慎重に検討していただきたい。できれば世界標準のレベルを見て選定していただきたい。</p>
市長	<p>尾藤委員のお話の中で、ソフトが無償、ハードも比較的安価という話があったが、それは非常にありがたい。通常、ハードやソフトを入れても、頻繁に更新しないといけないことが多く、多額の予算が必要となる。</p> <p>ぜひ、改めて情報をお聞きしたい。</p>
市長	<p>その他、ご意見はないでしょうか。</p> <p>(特になし)</p>

教育長	本日は、貴重な意見をいただき、本当にありがたい。ぜひ来年度以降の予算へ反映していけるよう、内部で折衝をしていきたい。
市長	<p>貴重な意見、ありがとうございました。</p> <p>まさにこれから、当初予算の編成作業に入っていく。本日いただいた意見を参考に、できる限り実現していきたい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>